

リユース食器を使ったエコイベント実践マニュアル

環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部

企画課 循環型社会推進室

平成 19 年(2007 年)3 月

請負 株式会社 ダイナックス都市環境研究所

はじめに

1970年代以降、私たちは大量生産・大量消費・大量廃棄の「使い捨て型」ライフスタイルや生産スタイルを定着させ、簡単・便利なくらしを謳歌してきました。けれどその間に、天然資源の枯渇や廃棄物の増大を招いただけでなく、地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題を引き起こしてしまいました。そこで、私たちの子どもや孫の世代まで、いつまでも快適な地球環境を伝えるために、今一人ひとりがくらしや仕事の中でできることは何か、考え、実践行動を進めることが大いに期待されています。

特に、天然資源の消費を抑制して環境負荷を下げる「循環型社会」実現に向けて、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の定着は緊急課題であり、多くの人にもものを大切にする心を伝える「リユース食器」の活用は、これまでの「使い捨て型」ライフスタイル見直しに直結する具体策として、様々な場で取り組みが始まっています。

けれど、各地で「サッカー場」や「地域イベント」など先進的な取り組みが生まれ、徐々に広がりを見せているものの、一般的な定着にはまだまだ道のり半ばであり、イベントでの「リユース食器」活用に関する知恵の共有が重要と考えられます。

そこで、先進的に取り組む各地の団体に協力いただき、身近なパーティーや地域イベントから、大規模な音楽イベントやスポーツスタジアムまで、多様な場での「リユース食器」によるごみゼロイベントの仕掛け方について、詳細なマニュアルを作成。食器洗浄に関する衛生管理の留意点や、経済的な収支など、これまで特に課題とされてきた点も含めてまとめることが出来ました。

「ごみゼロイベントを実現させた後の心地良さや、多くの人と力を合わせた充実感は、準備の苦労を吹き飛ばしてくれますよ」。この言葉を全国各地の関心ある方々に伝えると共に、3Rの定着を笑顔あふれる「快適環境の地域づくり」につなげていただきたいと願っています。

平成 19 年 3 月 吉日

平成 18 年度循環社会のリユースに関する検討委員会
座長 崎 田 裕 子

第 1 部	リユース食器を知ろう	7
1.	イベントからごみを減らそう！	8
2.	リユース食器の世界	9
3.	リユース食器とは？	10
4.	リユース食器活用の優れた点	12
5.	イベントタイプ別の導入例・利点・留意点	15
6.	リユース食器活用の手順・仕事の分類	20
7.	第 1 部のまとめ	22
第 2 部	リユース食器を使う	23
1.	第 2 部の全体像	24
2.	まずは全体の構想をたてよう	26
	1. 関心のある多くの人々と目的や環境意識を共有する	26
	2. 実施方法や主体について考える	27
	3. 余裕のあるスケジュールを組もう	28
	4. コスト面のことも考えておこう	28
3.	食器について（計画段階）	30
3. 1.	食器の入手方法	30
	1. 食器を自前で用意することも可能	30
	2. 食器をレンタルする方法もある	30
	3. 食器をイベント参加者が用意する	31
3. 2.	準備する食器の種類	32
	1. 使われる場所によって材質・大きさを選択	32
	2. 対象利用者によって大きさを選択	33
	3. リユース食器を目立たせよ	34
3. 3.	食器の耐久性について	35
	1. 食器を長持ちさせるには分散利用がコツ	35
	2. 使用済み食器はリサイクルへ	35
3. 4.	準備する食器の数	36
	1. 過去の販売数を参考に数量を決める	36
	2. カップ不足対策も念頭に	36
	3. 継続的に利用するなら損失率も考慮	37
3. 5.	その他食器に関すること	38
	1. カップを製作する時は、かさばらない工夫を	38

2.	保管方法について	38
4.	食器の回収について（計画段階）	39
4. 1.	食器回収計画を練ろう	39
1.	回収場所をどうするか知恵を絞ろう	39
4. 2.	回収率向上のための宣伝計画	40
1.	看板やアナウンスを使う（実施場所）	40
2.	有名人に呼びかけてもらう（実施場所）	40
3.	メディアを利用する（実施場所以外）	41
4. 3.	さらに回収率を上げるには	42
1.	デポジット制による回収率向上策	42
2.	デポジット制以外の回収率向上策	44
5.	食器の洗浄について（計画段階）	45
5. 1.	衛生管理についての全体的な考え方	45
1.	食品衛生法の基本的事項を押さえる	45
2.	保健所の担当者はここを心配している	46
3.	衛生上の事故を起こさないことが一番大切	46
5. 2.	洗浄場所の検討	47
1.	現地で洗う方法がある	47
2.	現地以外で洗う方法がある	48
5. 3.	食器洗浄機レンタル時の洗浄方法	49
1.	食器洗浄機の場合は水・排水・設置場所・電源を確保する	49
5. 4.	食器洗浄車について	50
1.	札幌・仙台・東京・石川・名古屋・京都・那覇等では配備済	50
5. 5.	その他洗浄に関すること	51
1.	乾燥が大切	51
2.	回収・洗浄の調整が必要	51
3.	衛生面に注意	52
6.	その他の調整事項（計画段階）	53
6. 1.	出店者・関係者との関係	53
1.	実施主体と店舗が異なる場合には十分に調整しましょう	53
2.	出店者は適切なオペレーションを考えましょう	54
6. 2.	対象物の検討	55
1.	リユース食器による販売物は多種多様	55
2.	競合商品の扱いを考慮	55
6. 3.	自治体との連携	56
1.	自治体のごみ削減事業とのタイアップ	56
6. 4.	費用負担について	57

1. 経費の大まかなみつもりを立てる.....	57
2. 広告費を企業から得よう.....	57
3. 企業をサポーターにしよう.....	58
6. 5. 人員計画について.....	59
1. 回収に必要な人数を見積もる.....	59
2. 食器洗浄関係で必要な人数を見積もる.....	59
7. 実施段階での注意事項.....	60
1. 周辺に比べて回収所が目立つことが重要.....	60
2. リハーサルの実施と問題点の早期解決.....	61
3. 協力者やボランティアを集めよう.....	61
4. 衛生面について関係者に周知を.....	61
5. 利用者に対して説明できるように.....	61
6. 食器数の管理がしやすいように工夫.....	61
7. 撤収スケジュールを組んでおく.....	62
8. 評価段階.....	63
8. 1. 次回実施のための改善案検討.....	63
1. 来場者アンケートを実施してみよう.....	63
2. うまくいった点とそうではなかった点を把握する.....	63
8. 2. ごみ削減量計算.....	64
1. ごみはどのくらい減らしましたか?.....	64
8. 3. 収支決算.....	65
1. コストを下げする方法.....	65
9. 第2部のまとめ～リユース食器利用のまとめ～.....	66
おわりに.....	67
<巻末資料：リユース食器導入お助け情報>.....	68
1. リユース食器の貸出団体一覧（2007年3月末現在）.....	69
2. 洗浄車貸出団体・自治体一覧（2007年2月末現在）.....	74
3. 関連法規等.....	76
4. 事業計画シート.....	79
5. 準備チェックシート.....	80
6. リユース食器貸出団体 食器保有状況等詳細.....	82
7. 参考文献等.....	99

本マニュアルの構成について

本マニュアルは、第1部と第2部の2部構成になっています。

第1部では、リユース食器に関する全体像について述べるとともに、実際に導入する場合に必要な調整事項の概要を述べます。第1部を読むことで、「何を調整したらいいのか」に関する全体像が把握できます。

第2部では、イベント開催までに3つの段階を設定し、順を追って必要事項を説明します。3つの段階とは、

- ①リユース食器を使ったイベントを計画する段階（計画段階）
- ②実際に準備・実施する段階（実施段階）
- ③利用後に評価する段階（評価段階）

の3つです。イベントの大小を問わず、リユース食器に関するこれまでの知見が段階ごとにまとめてあります。実際にはイベントの規模や形態に応じて必要な情報が異なってきます。そこで、第2部冒頭では、「どこを読めば必要な情報が手にはいるのか」を示してあります（P24）。

本マニュアルの巻末には、参考資料をまとめています。リユース食器を用いたイベントを支援する自治体やNPO等の各種団体の連絡先が掲載されています。また、事業の計画から準備までをチェックできるシートも用意しました（P80）。

第1部の概要

- ・ 広がるリユース食器の世界
- ・ リユース食器とは何か
- ・ リユースカップを使うことでの環境面での効果
- ・ イベント等における実際の利用例と今後の展開
- ・ 実際にリユース食器の利用を計画する場合の全体像

第2部の構成

計画、実施、評価の各段階において必要な情報やノウハウについて、ポイントを絞って記載します。項目ごとにポイントを挙げ、必要な情報が把握しやすい形をとっています。